

大地の力と海の恵みを活かした 創造性あふれる持続可能なまち

企業立地の促進…市の最重要課題として位置づけ、積極的な企業誘致に努める。臨海工業団地は、製造業及び物流倉庫業等の港湾関係企業に働きかけを行う。新たな工業団地の拡張を検討。
農業振興…地域農業の担い手となる新規就農者の確保と育成を図る。産地の維持拡大、環境に配慮した有機農業や環境保全型農業の推進。茶葉振興は、健康増進に繋げる取組と茶の輸出推進ため、積極的な販路開拓を推進する。
畜産振興…経営支援対策として貸付事業や導入事業により、規模拡大や適正な更新に努める。畜産施設整備支援事業に取り組み、規模拡大対策や環境対策等に努める。
ほ場整備等…引き続き施行同意や関係機関との調整を進め、着手可能な回地から整備を図る。「人・農地プラン」など担い手育成にも力を入れる。農道等の施設の老朽化対策に努める。
林業振興…作業路、材材場所等の施業の集約化を推進。特用林産物枝物等は、質・量ともに日本一を誇れる産

道は、志布志有明線の野神工区の早期事業完成を促進し、他路線も積極的な要望活動を行い、地域間格差の是正に努める。
都市計画…都市計画道路路間志布志線の用途区域決定に向け、国、県と協議。「志布志の将来像」や「インターチェンジ周辺の活用方針図」など平成29年度までの2か年において、市全体の将来像となる「志布志まちづくりマスタープラン」を策定。
都市計画道路「国屋線（県道志布志福山線）」の志布志インターチェンジまでを整備。
情報化の推進…電子自治体の一層の推進と、光ファイバー通信網の利活用策の調査・研究。マイナンバーは、平成29年7月から開始される国及び地方公共団体との情報連携に向けてのシステムの整備、国が策定する「自治体情報セキュリティ強化対策」に対応し、情報セキュリティの強化を推進。行政告知放送端末の設置促進を図る。
地形成に向けて、量産化、ブランド化へ向けて拡大を図る。
水産業振興…志布志港における豊富な水産資源を育てて捕獲する漁業の取組の一環として、昨年、カキ、アサリ等の養殖の実証実験を開始したが、引き続き漁協や水産研究施設等と新たな水産物の取組に向けた連携を図る。
商工業振興…商工業者の経営安定を図り、商店街の活性化、魅力ある店舗づくりを進める。大隅公共職業安定所とのさらなる連携、事業者の雇用の安定的確保を図る。食・グルメの振興は、ご当地グルメの市内外への情報発信やその活動の支援、新たなグルメ発信を図る。ふるさと納税の特産品事業は、組織の強化と支援体制の充実を図り、本市の重点施策の一つとして特に力を入れて取り進む。
観光振興…中心市街地と「R志布志駅」の機能を強化し、賑わいが生まれる場所として整備を進める。
観光物産宣伝に関する取組として、観光客誘致のための観光物産情報を総合的に宣伝。
イベントに関しては、「志布志市観光入込み客数、年間120万人」を目標に、より個性的で、より魅力あるイベントとなるよう取り組む。

「心」がよい合い 若さあふれる元気なまち

障がい福祉…障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援し、居住するすべての人が共生・協働しながら暮らすことができる地域社会づくりの推進。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の構築を目指す。施策の推進を図る。
子育て支援…「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、すべての子ども・子育て家庭に質の高い幼児期の教育、保育サービスを提供し、引き続き、施設整備への支援を行う。
高齢者福祉…高齢者の方が生活を営んでいる地域社会が安心して住みやすい場所となるよう、福祉事業の充実を図る。



子育て支援…「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、すべての子ども・子育て家庭に質の高い幼児期の教育、保育サービスを提供し、引き続き、施設整備への支援を行う。
高齢者福祉…高齢者の方が生活を営んでいる地域社会が安心して住みやすい場所となるよう、福祉事業の充実を図る。
国民健康保険事業…平成30年度の国保新制度移行に向けて、県や国保連合会との協議の場が設置され、国保事業費納付金等の算定方法を検討する。国保国民健康保険の現状を周知し、国保に対する理解と健康に対する意識の高揚に努める。

「郷と郷」「人と人」「物と物」の つながりがあるまち

志布志港…ボートセーリングと港の利便促進。事業者ニーズの把握や新規航路の開航、既存航路の活性化を通じた輸出入拡大。国際ハルク戦略港湾の大型バルク船に対応した港湾計画の策定、早期事業化に向けた要望活動。国内定期航路は志布志航路のさらなる利用促進に取り組む。
東九州自動車道・都城志布志道路…東九州自動車道は事業区間の整備促進と日南「志布志間の早期事業化を要望。市道香月線延伸計画に伴い、志布志港から東九州自動車道へのアクセス向上等のため、有明町野井倉に鹿児島・鹿屋方面へのハイフインターチェンジを追加要望。都城志布志道路は、防災・経済・医療の道として、国、県、関係機関に要望。
国道・県道・市道…国道220号は、歩道等の整備促進を関係機関に要望。県

道は、志布志有明線の野神工区の早期事業完成を促進し、他路線も積極的な要望活動を行い、地域間格差の是正に努める。
都市計画…都市計画道路路間志布志線の用途区域決定に向け、国、県と協議。「志布志の将来像」や「インターチェンジ周辺の活用方針図」など平成29年度までの2か年において、市全体の将来像となる「志布志まちづくりマスタープラン」を策定。
都市計画道路「国屋線（県道志布志福山線）」の志布志インターチェンジまでを整備。
情報化の推進…電子自治体の一層の推進と、光ファイバー通信網の利活用策の調査・研究。マイナンバーは、平成29年7月から開始される国及び地方公共団体との情報連携に向けてのシステムの整備、国が策定する「自治体情報セキュリティ強化対策」に対応し、情報セキュリティの強化を推進。行政告知放送端末の設置促進を図る。
地形成に向けて、量産化、ブランド化へ向けて拡大を図る。
水産業振興…志布志港における豊富な水産資源を育てて捕獲する漁業の取組の一環として、昨年、カキ、アサリ等の養殖の実証実験を開始したが、引き続き漁協や水産研究施設等と新たな水産物の取組に向けた連携を図る。
商工業振興…商工業者の経営安定を図り、商店街の活性化、魅力ある店舗づくりを進める。大隅公共職業安定所とのさらなる連携、事業者の雇用の安定的確保を図る。食・グルメの振興は、ご当地グルメの市内外への情報発信やその活動の支援、新たなグルメ発信を図る。ふるさと納税の特産品事業は、組織の強化と支援体制の充実を図り、本市の重点施策の一つとして特に力を入れて取り進む。
観光振興…中心市街地と「R志布志駅」の機能を強化し、賑わいが生まれる場所として整備を進める。
観光物産宣伝に関する取組として、観光客誘致のための観光物産情報を総合的に宣伝。
イベントに関しては、「志布志市観光入込み客数、年間120万人」を目標に、より個性的で、より魅力あるイベントとなるよう取り組む。

自然や風土と共生する 安心で豊かなまち

住宅…定住…高齢団地の建替えを推進。住宅リフォーム助成事業を実施。空き家の適正管理対策として空き家のリフォーム等助成。移住定住促進に努め、本市の活性化と均衡ある発展を図る。定住促進住宅用地の松山町泰野地区測量設計など、他の地区でも可能性を検討。空き家バンク制度に引き続き取り組む。若者の定住促進は、出会いを希望する男女の婚活を支援。
水道事業…水管理を含め、水道施設の耐震化及び石綿管を含む老朽管対策を推進し、安心・安全な良質で安定した水の供給を図る。
環境行政…市民と行政の共生・協働により確立された本市の廃棄物管理の適正な推進を図り、市民の協力を得ながら資源化率の向上に努める。本年度は特に使用済み紙おむつの再資源化に向けた調査・研究に取り組み。国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業による「サモアを中心とした大洋州における志布志モデルの推進」を引き続き展開。

共同墓地行政…水道料金の一部助成を継続。市営墓地の維持管理に努める。安全で安心なまちづくり…市民の生命、身体又は財産に危害を及ぼす犯罪の防止、交通事故の発生防止及び災害の未然防止に向けて取り組む。災害対応の中心となる自主防災組織の組織率の向上及び育成強化を図る。警察、防犯協会と連携し、うそ電話詐欺等の特殊詐欺や個人情報詐欺への被害防止広報や地域安全パトロールなど犯罪の抑止活動を実施し、犯罪発生率の低いまちを目指す。

自然や風土と共生する 安心で豊かなまち

住宅…定住…高齢団地の建替えを推進。住宅リフォーム助成事業を実施。空き家の適正管理対策として空き家のリフォーム等助成。移住定住促進に努め、本市の活性化と均衡ある発展を図る。定住促進住宅用地の松山町泰野地区測量設計など、他の地区でも可能性を検討。空き家バンク制度に引き続き取り組む。若者の定住促進は、出会いを希望する男女の婚活を支援。
水道事業…水管理を含め、水道施設の耐震化及び石綿管を含む老朽管対策を推進し、安心・安全な良質で安定した水の供給を図る。
環境行政…市民と行政の共生・協働により確立された本市の廃棄物管理の適正な推進を図り、市民の協力を得ながら資源化率の向上に努める。本年度は特に使用済み紙おむつの再資源化に向けた調査・研究に取り組み。国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業による「サモアを中心とした大洋州における志布志モデルの推進」を引き続き展開。

共同墓地行政…水道料金の一部助成を継続。市営墓地の維持管理に努める。安全で安心なまちづくり…市民の生命、身体又は財産に危害を及ぼす犯罪の防止、交通事故の発生防止及び災害の未然防止に向けて取り組む。災害対応の中心となる自主防災組織の組織率の向上及び育成強化を図る。警察、防犯協会と連携し、うそ電話詐欺等の特殊詐欺や個人情報詐欺への被害防止広報や地域安全パトロールなど犯罪の抑止活動を実施し、犯罪発生率の低いまちを目指す。

